

平成30年7月 全国百貨店売上高概況

平成30年8月21日

I. 概況

1. 売上高総額	5,132億円余
2. 前年同月比	-6.1% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	79社 219店 (平成30年6月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	5,511,447㎡ (前年同月比:-3.9%)
5. 総従業員数	69,397人 (前年同月比:-4.2%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	12-2月 -0.9%、1-3月 -0.7%、2-4月 0.0%、 3-5月 -0.4%、4-6月 0.6%、5-7月 -1.9%

[参考] 平成29年7月の売上高増減率は-1.4% (店舗数調整後)

【特徴】

7月の売上高は6.1%減と2か月ぶりのマイナスとなった。夏本番を迎えて、各店積極的な集客施策を企画・展開し、高額消費やインバウンドの好調さなども業績を下支えしたが、上旬の西日本豪雨をはじめ、梅雨が明けて以降連日の猛暑、更には月末の台風12号上陸など異常気象のほか、クリアランスセール前倒しの影響や土曜日1日減などのマイナス与件から、売上・客数共に振るわず前年実績には届かなかった。

顧客別では、インバウンド(シェア5.3%)が約272億円(19.8%増)と20か月連続でプラスを維持した一方、国内市場(シェア94.7%/7.2%減)は2か月ぶりに前年を下回った。また、地区別では、10都市が5.1%減とマイナスに転じ、地方(10都市以外の地区)では8.3%減と苦戦が続いている。

商品別では、高温により日傘、帽子、サングラス、扇子などの盛夏商材やUV関連商品が動いた。国内外ともに好調な化粧品(5.3%増)が牽引し、雑貨(0.8%増)は20か月連続増となったが、セール前倒しが響いた衣料品(11.1%減)や身のまわり品(6.3%減)はマイナスに転じた。食料品(4.2%減)や売場リースの影響を受けている家庭用品(10.4%減)では対前年減が続いている。

なお、百貨店業界が初めて実施した「プレミアム サマー バザール(7月27日からのクリアランス)」は、台風の影響を受けた日を除く月末業績で、前年を上回る効果があったと報告されている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇太平洋高気圧の勢力が日本付近で強く、平均気温が北・東・西日本でかなり高かった。また、梅雨前線や台風第7号の影響で西日本を中心に全国的に記録的な大雨となり、「平成30年7月豪雨」が発生した。また、東日本と西日本日本海側では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間はかなり多かった。

(2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比 -0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(// -1日/土曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数119店舗)

①増加した:15店、②変化なし:31店、③減少した:73店

(5) 7月歳時記(クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数90店舗)

①増加した:3店、②変化なし:43店、③減少した:44店

全国百貨店 売上高速報 2018年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	513,200,078	100.0	-6.1 (-6.2)
10都市	363,016,497	70.7	-5.1 (-4.6)
札幌	13,313,318	2.6	-2.6
仙台	7,258,408	1.4	-4.3
東京	140,348,733	27.3	-4.5
横浜	31,105,495	6.1	-2.9
名古屋	33,017,245	6.4	-1.6 (-5.2)
京都	20,511,083	4.0	-6.8
大阪	75,445,130	14.7	-1.7
神戸	12,454,087	2.4	-36.0 (-14.0)
広島	10,700,036	2.1	-14.6
福岡	18,862,962	3.7	-4.2
10都市以外の地区	150,183,581	29.3	-8.3 (-9.8)
北海道	1,401,276	0.3	-10.2
東北	6,944,683	1.4	-7.3 (-9.9)
関東	64,734,422	12.6	-7.0 (-11.8)
中部	11,971,707	2.3	-5.2 (-5.6)
近畿	20,023,387	3.9	-16.7 (-10.9)
中国	10,686,886	2.1	-10.9
四国	8,545,162	1.7	-6.4
九州	25,876,058	5.0	-6.0

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	513,200,078	100.0	-6.1 (-6.2)
紳士服・洋品	29,957,786	5.8	-10.8 (-11.0)
婦人服・洋品	94,007,570	18.3	-11.0 (-11.4)
子供服・洋品	9,513,880	1.9	-11.3 (-10.7)
その他衣料品	11,136,822	2.2	-12.2 (-13.3)
衣 料 品	144,616,058	28.2	-11.1 (-11.4)
身のまわり品	67,712,907	13.2	-6.3 (-6.3)
化粧品	44,244,115	8.6	5.3 (5.3)
美術・宝飾・貴金属	30,768,757	6.0	-1.3 (-1.1)
その他雑貨	17,551,316	3.4	-5.9 (-4.5)
雑 貨	92,564,188	18.0	0.8 (1.1)
家 具	5,482,617	1.1	-7.7 (-8.1)
家 電	989,102	0.2	-18.5 (-18.7)
その他家庭用品	14,061,535	2.7	-10.8 (-11.1)
家 庭 用 品	20,533,254	4.0	-10.4 (-10.7)
生 鮮 食 品	30,152,002	5.9	-5.6 (-5.5)
菓 子	39,626,138	7.7	-4.5 (-4.4)
惣 菜	30,794,766	6.0	-4.0 (-3.6)
その他食料品	58,086,965	11.3	-3.2 (-3.7)
食 料 品	158,659,871	30.9	-4.2 (-4.2)
食 堂 喫 茶	14,126,949	2.8	-7.2 (-7.8)
サ ー ビ ス	4,797,107	0.9	-5.3 (-6.1)
そ の 他	10,189,744	2.0	-5.0 (-6.1)
商 品 券	18,022,173	3.5	-8.1 (-9.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | - 5.1% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 8.3% (店舗数調整後/15か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	- 5.1	- 3.6	2か月ぶりマイナス
札幌	- 2.6	- 0.1	6か月ぶりマイナス
仙台	- 4.3	- 0.1	2か月ぶりマイナス
東京	- 4.5	- 1.2	6か月ぶりマイナス
横浜	- 2.9	- 0.2	2か月ぶりマイナス
名古屋	- 1.6	- 0.1	4か月ぶりマイナス
京都	- 6.8	- 0.3	2か月ぶりマイナス
大阪	- 1.7	- 0.2	19か月ぶりマイナス
神戸	- 36.0	- 1.0	11か月連続マイナス
広島	- 14.6	- 0.3	2か月ぶりマイナス
福岡	- 4.2	- 0.2	12か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	- 8.3	- 2.5	15か月連続マイナス
北海道	- 10.2	0.0	22か月連続マイナス*
東北	- 7.3	- 0.1	11か月連続マイナス*
関東	- 7.0	- 0.9	2か月ぶりマイナス
中部	- 5.2	- 0.1	2か月ぶりマイナス
近畿	- 16.7	- 0.7	17か月連続マイナス
中国	- 10.9	- 0.2	4か月連続マイナス*
四国	- 6.4	- 0.1	2か月ぶりマイナス
九州	- 6.0	- 0.3	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が20か月連続のプラスとなった。また、衣料品が2か月ぶり、身のまわり品が7か月ぶり、食料品が14か月連続、家庭用品が31か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が40か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-6.1	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-10.8	-0.7	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-11.0	-2.1	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-11.3	-0.2	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-12.2	-0.3	33か月連続マイナス
衣料品	-11.1	-3.3	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-6.3	-0.8	7か月ぶりマイナス
化粧品	5.3	0.4	40か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-1.3	-0.1	16か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-5.9	-0.2	2か月ぶりマイナス*
雑貨	0.8	0.1	20か月連続プラス
家具	-7.7	-0.1	3か月ぶりマイナス
家電	-18.5	0.0	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-10.8	-0.3	28か月連続マイナス
家庭用品	-10.4	-0.4	31か月連続マイナス
生鮮食品	-5.6	-0.3	52か月連続マイナス*
菓子	-4.5	-0.3	8か月連続マイナス*
惣菜	-4.0	-0.2	10か月連続マイナス*
その他食料品	-3.2	-0.4	4か月連続マイナス*
食料品	-4.2	-1.3	14か月連続マイナス
食堂喫茶	-7.2	-0.2	15か月連続マイナス
サービス	-5.3	0.0	8か月連続マイナス
その他	-5.0	-0.1	3か月連続マイナス
商品券	-8.1	-0.3	89か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>